

第7回TIAナノエレクトロニクス・ナノテクノロジーサマースクール開催報告



大野 裕三教授
 筑波大学数理物質系

産業技術総合研究所(産総研)と筑波大学の共同主催のもと、8月28日から8月30日の日程で開催されました。企画・運営を行った大野裕三教授(筑波大学)にお話を伺いました。

第7回ナノエレクトロニクス・ナノテクノロジーサマースクールが8月28日から8月30日までの3日間で開催されました。

本スクールは昨年度と同様に、講義では最先端LSI技術を中心に将来のナノエレクトロニクス技術の展開の他、今年度はグラフェンとReRAMについて講義し、設計実習やスーパークリーンルーム(SCR)見学を実施しました。参加者は6名で、学生5名および企業から1名参加でした。なお、今年度は前年度まで実施していたナノグリーンサマースクール参加者との合同ポスターセッションがなくなりました。

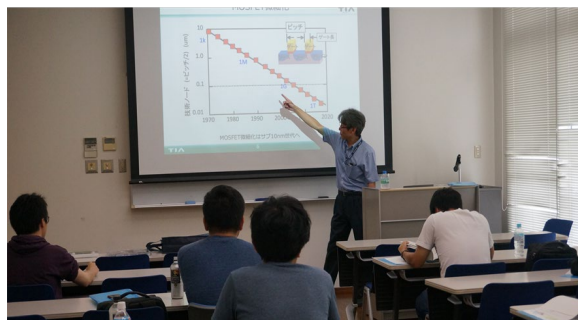
スクール1日目は集積回路(IC)の基礎を学んだ後、デバイス物理について深く掘り下げた講義が行われました。また、微細加工の中核をなすリソグラフィ技術とフロントエンドプロセスの講義が行われました。

2日目は、TCAD実習とSCR棟の見学が実施され、デバイス・プロセスシミュレーションと製造現場を実体験し貴重な経験が得られたと思います。

3日目は極薄膜技術とバックエンドプロセス、グラフェンおよびReRAMについて講義が行われ、最新の半導体デバイス作成プロセスと多層配線技術、さらに将来のナノエレクトロニクスデバイス材料について講義が行われました。最終日には学生5名に修了証が手渡されました。

参加者が予定定員より少なかったことは残念ですが、7回目の本スクールは過去のサマースクールのエッセンスを残したまま、さらに発展し今後への新しい展開に向けて成功だったと思います。

講師・受講生ともに熱心な講義風景



修了証の授与



開催日	2019年8月28日(水)~8月30日(金)
会場	筑波大学総合研究棟B、産業技術総合研究所つくば西 TIA連携棟
主催(共同開催)	筑波大学大学院 数理物質科学研究科、産業技術総合研究所つくばTIA推進センター
後援	公益社団法人 日本工学会
構成	講義8コマ+ TCAD実習 + SCR見学
参加者数	6名(大学院生5名、企業1名) ※内 単位取得希望者: 5名
修了証	5名に授与